室町時代

名前

問1　室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 御教書
2. 割符
3. 朱印状
4. 勘合

問2　日本の歴史年表において、1192年に征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物と、1467年に有力な守護大名の勢力争いなどが原因で始まり、その後約11年間にわたって京都を中心に続いた内乱の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 足利尊氏と応仁の乱
2. 源頼朝と観応の擾乱
3. 源義経と応仁の乱
4. 源頼朝と応仁の乱

問3　室町時代の足利義政の時期に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた文化が発展しました。京都の龍安寺に見られるような、水を使わずに石や砂、木などを巧みに配置することで自然の景観を表現した庭園様式を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 浄土式の庭園
2. 書院造の庭園
3. 枯山水の庭園
4. 寝殿造の庭園

問4　近江地方（現在の滋賀県）には、当時の農民たちが団結し、実力行使によって借金の帳消しを実現させたことを示す碑文が残されています。このように、室町時代に農民たちが、自らの要求を掲げて団結し、蜂起した歴史的事象を何と呼びますか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 島原・天草一揆
2. 一向一揆
3. 打ちこわし
4. 土一揆

問5　室町時代の明との貿易における、日本からの主な輸出項目として正しい組み合わせはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 米、大豆、木綿
2. 銀、綿織物、砂糖
3. 生糸、絹織物、陶磁器
4. 銅、硫黄、刀剣（日本刀）

問6　室町時代に行われた明との貿易では、正式な貿易船であることを証明するために「勘合（勘合符）」という合い札が使用されました。この勘合が導入された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 輸入品にかかる関税の金額を明の役人に通知するため
2. 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊を区別するため
3. 日本国内の有力な大名が勝手に海外へ行くのを防ぐため
4. キリスト教の布教を許可された船であることを示すため

問7　室町時代、足利義満が明との間で始めた貿易では、当時「倭寇」と呼ばれた海賊による私貿易船と、幕府が認めた正式な貿易船を区別する必要がありました。このとき、二枚に分割された合札を照合することで、正式な船であることを証明した道具を何といいますか。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 手形
2. 割印
3. 朱印状
4. 勘合（勘合符）

問8　室町幕府の第8代将軍であり、自身の後継ぎ問題をきっかけの一つとして1467年に応仁の乱が起こった時の将軍は誰か。彼は京都の東山に銀閣を建て、書院造などに代表される文化を栄えさせたことでも知られる。（2024年 青森県公立入試 類似）

1. 足利義満
2. 足利尊氏
3. 足利義昭
4. 足利義政

問9　室町時代の京都で発展した、銀閣に代表される「東山文化」の形成背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 平氏が日宋貿易で得た富を背景に、極楽浄土の姿を現世に再現しようとする仏教文化が地方まで広まった。
2. 南蛮貿易を通じてキリスト教や西欧の技術が流入し、権力者の権威を示すための華やかで豪華な文化が好まれた。
3. 遣唐使によってもたらされた唐の文化が、平安貴族の間で日本風に作り替えられることで発展した。
4. 大陸との貿易によってもたらされた富や禅宗の影響を受け、武家、公家、僧侶の文化が融合して生まれた。

問10　中世の農業において、家畜の利用や二毛作の普及によって農業生産力が向上したことは、当時の社会にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明した報告において、農業と他の産業との関わりに触れた内容として適切なものを次から選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 食料が自給自足で完結するようになったため、貨幣の使用が禁止され、物々交換の経済へと逆戻りした。
2. 余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。
3. 農民のすべてが武士階級へと格上げされたことで、兵農分離が徹底され、強力な中央集権国家が成立した。
4. 農業生産の余力がすべて海外輸出に回されたため、国内では極端な米不足が続き、鎖国体制が築かれた。

問11　室町時代における政治的混乱と社会の変遷について述べた文として、歴史的事実の順序が正しいものはどれか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 鎌倉幕府を倒した直後の応仁の乱によって社会が混乱したが、足利義満がこの乱を鎮圧して南北朝の統一を達成し、戦国大名の出現を未然に防いだ。
2. 応仁の乱によって幕府の権威が失墜したことを受けて、足利義満が南北朝の統一を行うことで混乱を収束させ、その後に有力な守護が大名として各地を支配した。
3. 各地で戦国大名による領国支配が進む中で、その対立を解消するために足利尊氏が南北朝の統一を宣言したが、直後に応仁の乱が発生して幕府は滅亡した。
4. 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、将軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。

問12　室町時代に発生した土一揆について、一揆の背景にある農民たちの目的と、幕府への要求内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 米の価格高騰への抗議を目的とし、幕府に対して米の安売りを要求した。
2. 借金の帳消しを目的とし、幕府に対して徳政令の発令を要求した。
3. 特定の宗教への弾圧に反対することを目的とし、幕府に対して信仰の自由を要求した。
4. 年貢の減免を目的とし、幕府に対して領主の交代を要求した。

問13　室町時代、農民たちが団結して「土一揆」を起こし、幕府や金融業者に対して「徳政」を要求した背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 土倉や酒屋が独占していた酒の製造販売権を、農民に開放させるため
2. 幕府が徴収していた棟別銭や段銭などの税を、完全に廃止させるため
3. 荘園領主に納める年貢の量を、全国一律で半分に減らすため
4. 借金を帳消しにし、担保として預けた土地や品物を取り戻すため

問14　日本列島の中心的な役割を果たした近畿地方において、奈良時代から室町時代にかけて起こった歴史的出来事を古い順に並べたものとして、正しい組み合わせはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 平城京の造営、応仁の乱の発生、六波羅探題の設置
2. 平城京の造営、六波羅探題の設置、応仁の乱の発生
3. 六波羅探題の設置、平城京の造営、応仁の乱の発生
4. 応仁の乱の発生、平城京の造営、六波羅探題の設置

答え合わせ・解説

問1	答え 4 勘合	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らす倭寇の存在が国際問題となっており、明側からその取り締まりを強く求められていました。そこで、中央に「本」という文字などが書かれた紙を左右半分に切り、日本側と明側でそれぞれ保管し、入港時にそれらを照合することで、正式な貿易船であることを証明する仕組みが導入されました。
問2	答え 4 源頼朝と応仁の乱	1192年に朝廷から征夷大将軍に任じられた源頼朝は、武家政権である鎌倉幕府を確立しました。一方、1467年に発生した応仁の乱は、室町幕府の将軍の跡継ぎ問題や細川氏・山名氏といった有力な守護大名の対立が複雑に絡み合って起こったもので、この乱を境に時代は戦国時代へと突入することになります。
問3	答え 3 枯山水の庭園	室町時代の東山文化において、禅宗の精神性を反映して誕生した様式です。水という具体的な素材を使わずに、白砂の紋様で水の流れを、石の配置で山や島を象徴的に表現する点に特徴があります。龍安寺の石庭はその代表例として有名です。
問4	答え 4 土一揆	近江（大乗院寺社雑事記などにも記される地域）に残る碑文などの歴史的証拠は、当時の民衆がただ支配されるだけでなく、組織的に行動して要求を通そうとした力の強さを示しています。土一揆は、村々の自治組織である「惣」が中心となり、地域を越えた広範なネットワークを持って展開されました。江戸時代の「打ちこわし」とは、時代背景や組織化の形態が異なります。
問5	答え 4 銅、硫黄、刀剣（日本刀）	勘合貿易において、日本からは国内で産出される銅や硫黄といった鉱産資源のほか、高い工芸技術で作られた刀剣（日本刀）などが輸出されました。これに対し、明からは銅銭（永楽通宝など）や生糸、絹織物、書画などが輸入され、日本の貨幣経済の発達や東山文化に大きな影響を与えました。
問6	答え 2 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊を区別するため	14世紀から15世紀にかけて、東アジアの沿岸地域では「倭寇」と呼ばれる海賊集団が活動し、略奪行為を行っていました。明はこれを取り締まるよう日本に求め、正式な使節（貿易船）と倭寇を厳別するために、互いの札を合わせることで本物と証明する「勘合」を導入しました。これにより、室町幕府が公認した船だけが安全に貿易を行うことができるようになりました。
問7	答え 4 勘合（勘合符）	足利義満は明の皇帝からの要求を受け、倭寇を鎮めることを条件に日明貿易を開始しました。この貿易では、あらかじめ日本側と明側で半分に分けた「勘合」という紙を所持し、港でそれらを突き合わせて一致するかを確認する仕組みが導入されました。これにより、幕府の許可を得ていない倭寇による密貿易を排除しました。
問8	答え 4 足利義政	第8代将軍足利義政の時代には、簡素で気品のある東山文化が栄えた。しかし、政治面では彼自身の後継者争いが畠山氏や斯波氏の家督争いと結びつき、全国の守護大名を巻き込む応仁の乱へと発展した。なお、足利尊氏は初代将軍、足利義満は金閣を建てた3代将軍である。
問9	答え 4 大陸との貿易によってもたらされた富や禅宗の影響を受け、武家、公家、僧侶の文化が融合して生まれた。	室町幕府が行った勘合貿易（日明貿易）や琉球王国を介した中継貿易は、当時の日本に大きな富と大陸の最新文化をもたらしました。特に京都を拠点とした足利将軍家はこれらを積極的に取り入れ、禅宗の精神を背景に、武家・公家・僧侶といった異なる階層の文化が混じり合うことで、書院造や茶の湯などに代表される独自の日本文化が形成されました。
問10	答え 2 余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。	農業生産力が向上して生活に余裕が生まれると、農民は自分の家で使う分以外の作物や、特産品を売買するようになりました。これにより、手工業品や特産物を扱う商業が盛んになり、寺社の門前や交通の要所に人々が集まって定期市が開かれるなどの社会変化をもたらしました。
問11	答え 4 足利義満が南北朝の統一を成し遂げた後、将軍の跡継ぎ問題などを背景に応仁の乱が起こり、実力のある者が上位の者を倒す下剋上の風潮の中で戦国大名が登場した。	室町幕府の三代将軍である足利義満は、1392年に南北朝の合一（統一）を実現し、幕府の全盛期を築きました。しかし、1467年に始まった応仁の乱により幕府の権威は大きく衰退しました。この乱をきっかけに、実力で主君を倒す「下剋上」の動きが加速し、それまでの守護大名に代わって、自らの力で領国を支配する戦国大名が各地で台頭する戦国時代へと移行していきました。
問12	答え 2 借金の帳消しを目的とし、幕府に対して徳政令の発令を要求した。	室町時代の農民は、凶作や重税によって膨らんだ借金に苦しんでいました。そのため、彼らは団結して土倉などを襲撃するとともに、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」を出すよう強く求めました。1428年の正長の土一揆では、実際に幕府が徳政令を出さないまま、各地で借金の踏み倒しが行われるなどの社会現象となりました。
問13	答え 4 借金を帳消しにし、担保として預けた土地や品物を取り戻すため	室町時代の土一揆は、凶作や流行病などによる生活苦から、借金に苦しむ農民たちが中心となって起こされました。彼らは借金の証文を破棄したり、金融業者から無理やり返還を勝ち取ったりする「私徳政」を行うこともあれば、幕府に対して公式に債務免除を命じる「徳政令」の発布を求めることもありました。これは当時の貨幣経済の浸透と、それに伴う農民の窮乏化が背景にあります。
問14	答え 2 平城京の造営、六波羅探題の設置、応仁の乱の発生	奈良時代の710年に唐の都をモデルとして平城京が造られた。その後、鎌倉時代の1221年に起こった承久の乱の際、幕府が朝廷の監視や西国の統制を行うために六波羅探題を設置した。そして、室町時代後期の1467年に将軍の跡継ぎ問題などから応仁の乱が勃発し、戦国時代へと突入する流れとなる。近畿地方は、これら各時代の転換点となる出来事の舞台となった。